

2. 主要寸法

(単位 mm)

称	呼	DRA-J	1,250	1,600	2,000	2,500
コラムの直径			450			550
コラム側面と主軸との最大距離			1,250	1,600	2,000	2,500
コラム中心と主軸との最大距離			1,585	1,935	2,400	2,900
主軸の左右移動距離			905	1,255	1,660	2,160
主軸端とベース面との最大最小			1,485~300		1,890~610	
アームの上下移動距離			785			880
主 軸						
速度変換数 (右および左回転)						22
速度範囲 (r.p.m.) 右回転			50%		14~1,800	
			60%		18~2,240	
					左回転	右回転の約1.4倍
直径 (軸/ノーズ)						90/85
テーパー穴						M.T. No. 5
自動送り変換数						18
自動送りの範囲 (mm/rev)						0.025~1.25
上下移動距離						400
ベース						
寸法 (高さ×巾×長さ)			240×2,360×1,180	240×2,710×1,180	300×3,285×1,320	300×3,785×1,320
作業面積			1,385×1,000	1,735×1,000	2,145×1,140	2,645×1,140
補助テーブルの寸法(高さ×巾×長さ)			500×600×500		500×750×600	
所要動力						
主電動機 (kW)						5.5
昇降用電動機 (kW)						2.2
クランプ用電動機 (kW)						0.4
冷却液ポンプ用電動機 (kW)						0.2
所要床面積			2,790×1,180	3,160×1,180	3,600×1,320	4,130×1,320
正味重量 (Kg)			7,500	8,000	11,500	12,000

4. 機械のすえ付け方法

4-1 機械のつり上げ方法

本機械の重量は下表のとおりでありますから重量に十分耐え得るワイヤロープを準備して下さい。表示の重量は電動機、補助テーブルを付け、その他の特別付属品なしの機械正味重量であります。

称 呼	1,250	1,600	2,000	2,500
重 量 (kg)	7,500	8,000	11,500	12,000

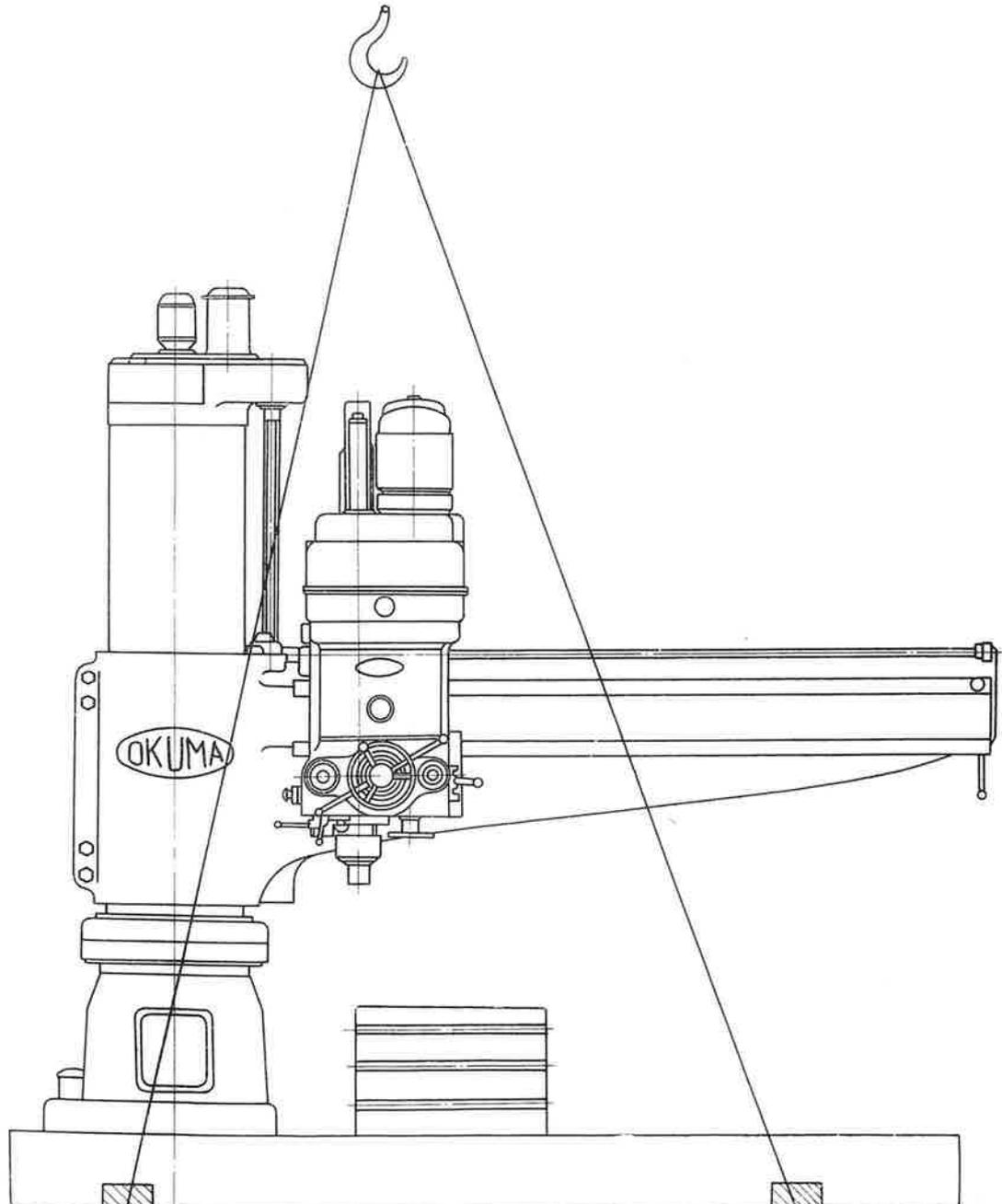
機械をつり上げるには次の事項に注意し、順を追って作業して下さい。

- (1) 荷造りを解いて本機を所定の場所へ運搬する場合は、そのままの状態をつり上げてよいが、使用後他所へ移転する場合にはアームを最下位置に下げ、主軸頭を左端に移動させて主軸頭、アーム、およびコラムスリーブが完全にクランプされている

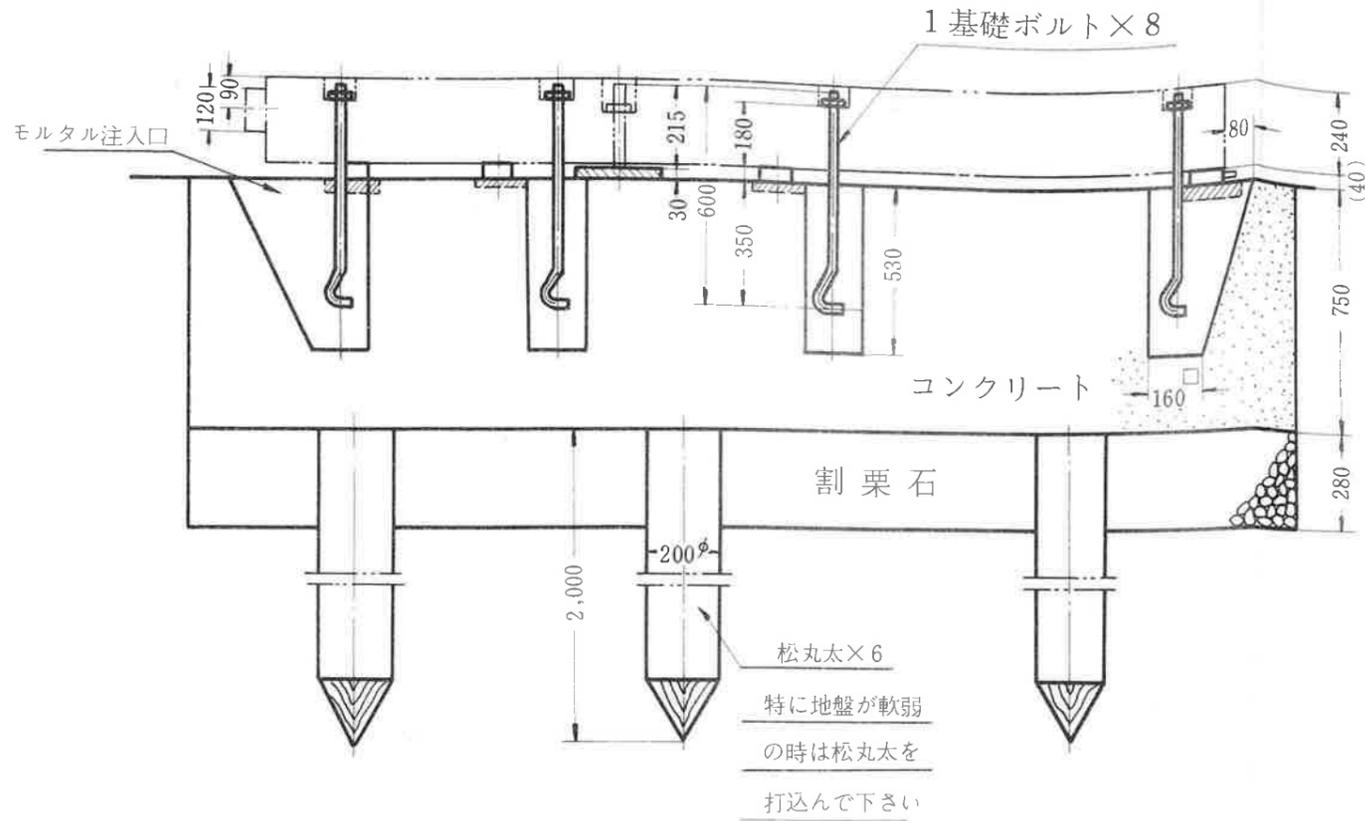
る事を確認してから作業を始めて下さい。

またアーム背面のカバーはアーム上面の丁番部にてはずしておいた方がよいです。

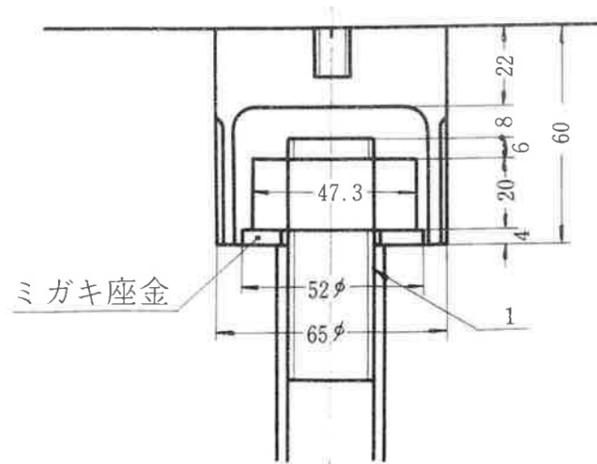
- (2) 図に示すように二本のワイヤロープによりつり上げる位置を定めて下さい。ワイヤロープの位置はベース前面に図示してあります。
- (3) アームのすべり面およびコラムスリーブの外径はワイヤロープが触れないように確実な台木で保護して下さい。
- (4) 機械の塗装部はその塗料がはげないように古い皮またはボロ布をワイヤロープの間に差し込んで下さい。
- (5) つり上げる前にクレーンにて少し引張ってみて、機械の平衡状態を確かめてからつり上げて下さい。



視図 A-A



基礎ボルト頭部詳細図



ジャッキボルト詳細図

